なるざ 健康新聞

NO.54　平成 26 年5月

〒910-4103　福井県あわら市二面２丁目 302 番地

訪問看護ステーションなるざリハビリサービス

TEL　0776-77-2282　　ホームページ　www.naruza.jp/

== もくじ ==

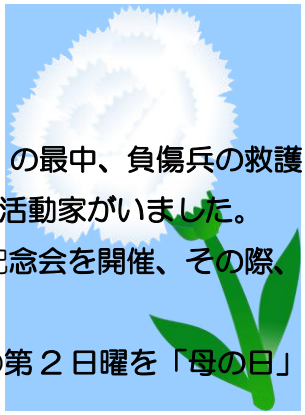
1．母の日・父の日について

2．苔玉作り

担当：窪田

母の日・父の日について

5/11 は母の日でした。日本では「母の日」は５月の第２日曜、「父の日」は６月の第３日曜とされていますが、今回は、母の日・父の日の起源、アメリカ発祥説をお話します。



「母の日」の由来

アメリカ合衆国とアメリカ連合国で争われた南北戦争（1861 年～1865 年）の最中、負傷兵の救護や衛生管理を行うため、敵味方を問わず地域の女性を結束させたアンという女性活動家がいました。

そのアンの死から２年経った 1907 年５月 12 日。娘のアンナが、教会で記念会を開催、その際、母が大好きだったという白いカーネーションを祭壇に掲げたと言われています。

この行為がアメリカ全土に広がりを見せ、1914 年、当時の大統領が、５月の第２日曜を「母の日」として国民の祝日に制定しました。

亡き母に白いカーネーションを贈ったアンナの行為を受け、後に「母が他界している場合は白いカーネーション」「母が健在であれば赤いカーネーション」を胸に飾るようになったと言われ、それがやがて、「母の日にはカーネーションを贈る」という習慣へ変化していったと言われています。

なお日本では、明治末期から大正にかけて広まったとされ、1949 年頃から５月の第２日曜に行われるようになったようです。

「父の日」の由来

起源としては「母の日」が先で、その影響を受け「父の日」が始まったと言われています。

アメリカに、ソノラ・スマート・ドッドという女性がいました。彼女の父は、母の死後、男手１つで彼女を含む６人の子どもを育ててくれました。

そして 1909 年。ドッド夫人は父の死後、父の誕生月であった６月に、教会に依頼して礼拝を行ってもらいます。

以降、アメリカ国内で既に始まっていた「母の日」を受け、ドッド夫人は「父の日」の制定を牧師協会などへ懇願。1916 年には当時の大統領が教会を訪れ、演説を行ったことから「父の日」が広がりを見せ、「母の日」同様、やがてアメリカ全土に知れ渡るようになり、1972 年には正式な祝日として制定されました。

ドッド夫人が父の墓前に白いバラを供えたことから、「父の日」の花はバラとされており、「母の日」と同じく「父が他界している場合は白いバラ」「父が健在であれば赤いバラ」を身に付けるようになったと言われています。

なお日本では、1950 年頃から徐々に広がりを見せ、現在のような一般的な行事として認知されるようになったのは、1980 年代と言われています。

苔玉作り

5/10・11 と、あわら市にある『金津創作の森』で森のアートフェスタが開催されました。毎年春と秋に行われるこのイベントは、県内外からたくさんの人が訪れ、にぎわうのですが、私も娘と毎年参加しています。創作作家さんたちの作品を見るのも楽しいのですが、私たちの一番の楽しみは創作体験！！ガラスのスタンプ作りに七宝焼きのアクセサリー作り、そして今回は苔玉作りも体験してきました。

1．まず好きな植物を選び、根っこをほぐします。

2．栄養のたっぷり入った土を平らに広げ、植物の根をくるみます。

3．苔を巻いていきます。

4．苔がはがれないように絹糸でぐるぐると固定します。

5．完成！！
意外に簡単！！

水やりは、苔が乾いたら水の中に１０秒沈めるだけ。うまく育ちますように・・・

ビーズのアクセサリー作りや風車作りなど、たくさんある体験コーナーの中から、娘が『やってみたい！！』と興味を持ったのは、なぜかこの渋い苔玉作り(^_^;)

でもやってみると楽しくて、作った後は育てる楽しみもできて・・・。　この姿に癒されます(^_^)